

モバイル接続料の検証に関する追加質問
ソフトバンクご回答

令和4年6月9日
ソフトバンク株式会社

接続料の算定等に関する研究会（第58回）を踏まえた構成員追加ご質問につきまして、以下のとおりご回答いたしますので、ご査収の程よろしくお願いたします。

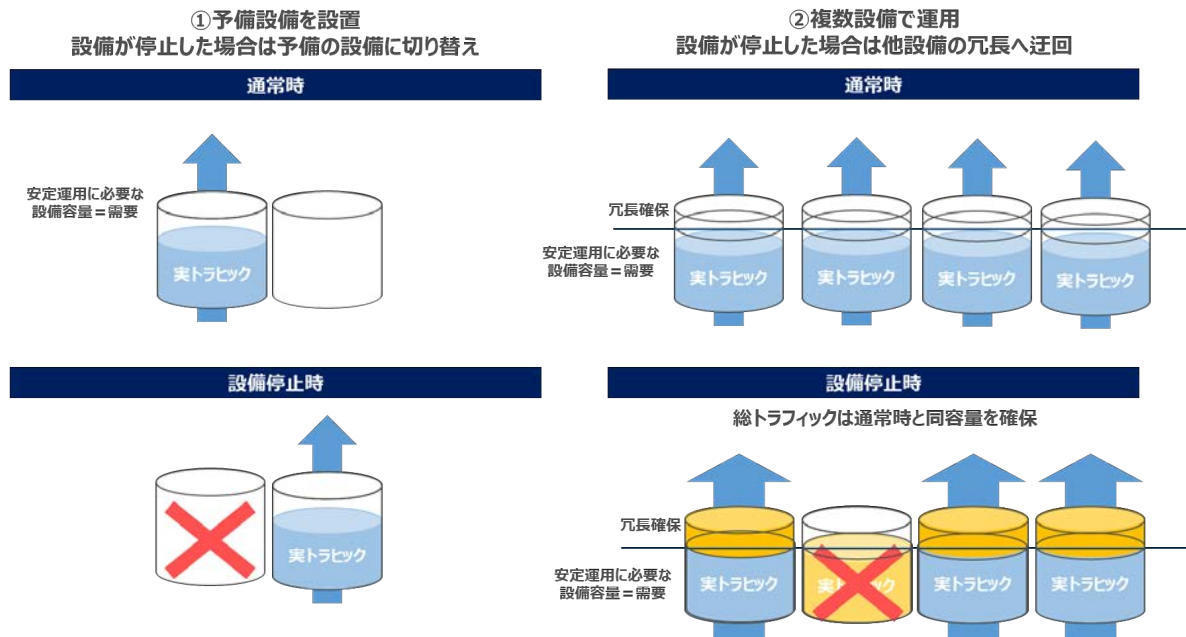
【辻座長】

1. 需要について

- (1) KDDI の資料 58-3 の P.6 の図を踏まえて、貴社のネットワーク設備の冗長構成と需要の考え方を図を使ってお示ください。

【ソフトバンク回答】

当社では、設備毎に適切な冗長構成等を用いてネットワークを構築しております。基本的な冗長構成や需要の考え方は、以下の図の通りです。



構成員限り

(2)

【ソフトバンク回答】

構成員限り

- (3) 接続料算定における合理性の観点から、自社のネットワーク設備の冗長性を踏まえ、どのような考え方で需要を設定しているのか、できるだけ定量的な説明をお願いします。

【ソフトバンク回答】

冗長設備や予備に係る設備は、障害時等においても安定的なネットワーク運用を確保し通常時と同等のトラフィックを捌くために用いられるものであり、冗長・予備があることで通常時あるいは障害時における総トラフィックが増えるものではないため、接続料算定に用いる需要には含めていません。

接続料算定の需要としては、当社基準でネットワークが安定運用できる設備容量を設定しています。

来年度以降も、需要に占める実トラフィックの比率等、経年推移等の検証に必要な情報を報告したいと考えています。

以上

モバイル接続料の検証に関する追加質問【追加分】

ソフトバンクご回答

令和4年6月9日

ソフトバンク株式会社

接続料の算定等に関する研究会（第58回）を踏まえた構成員追加ご質問につきまして、以下のとおりご回答いたしますので、ご査収の程よろしくお願いたします。

【佐藤構成員】

1. 原価について

- (1) 原価の各費目について、なぜ2020年度適用接続料の予測値と実績値に差分（増加・減少・横ばい）が生じたのか、その増減分と理由について御教示ください。

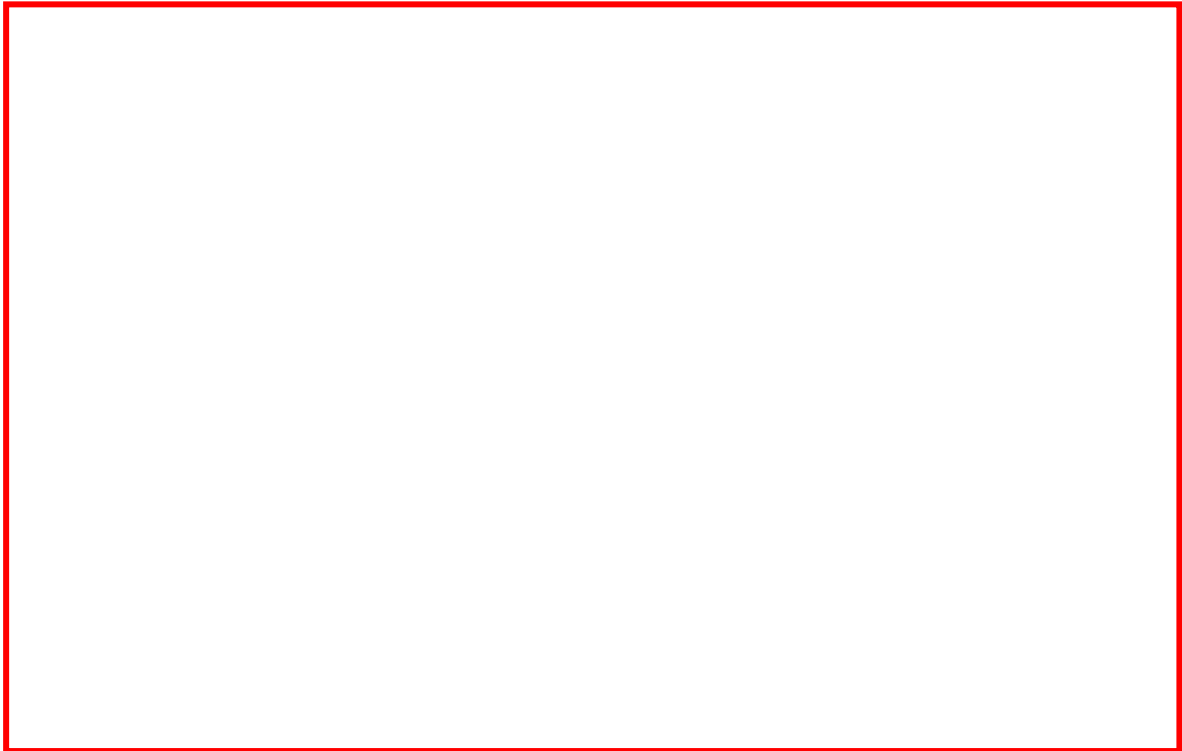
構成員限り

構成員限り

(2) 原価の各費目について、なぜ2022年度適用接続料の予測値に差分（昨年届出時より増加・減少・横ばい）が生じたのか、その増減分と理由について御教示ください。

構成員限り

構成員限り



2. 需要について

- (1) 「接続料原価の対象となる設備の需要の測定箇所における通信容量の合計（貴社の需要＋冗長分）」と「貴社の需要」それぞれの値を、直近数年間分（例えば、2021 年度を含む過去3年。可能な範囲で。）についてお示しください。

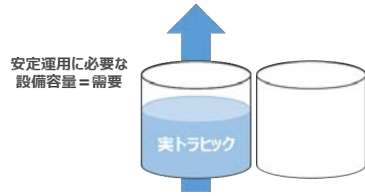
【ソフトバンク回答】

当社はネットワークを安定稼働するために必要な設備容量（冗長設備に関する容量を除く）を、算定に用いる需要として設定しています。基本的な冗長構成や需要の考え方は以下の図の通りです。

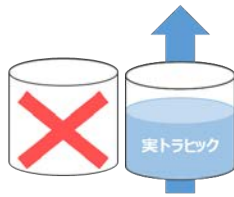
冗長設備の容量は、ネットワーク品質に係る情報であり、サービス競争上の機密情報のため具体的な数値の開示を控えさせていただきますが、FY21 実績において、算定に用いる設備容量（需要）に対する実トラフィックの割合は 構成員限り であり、今後、当該需要に占める実トラフィックの比率等が経年で検証されるものと理解しています。そういった検証を通じて、ネットワークを安定稼働するために必要な設備容量（需要）の考え方などの議論が深まるものと考えます。

① 予備設備を設置
設備が停止した場合は予備の設備に切り替え

通常時

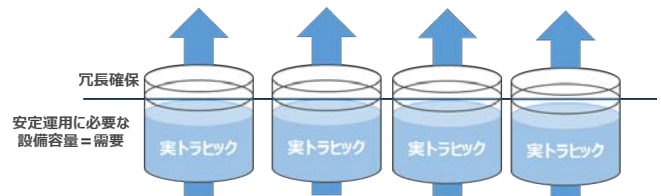


設備停止時



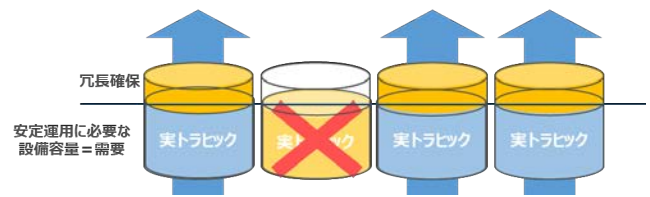
② 複数設備で運用
設備が停止した場合は他設備の冗長へ迂回

通常時



設備停止時

総トラフィックは通常時と同容量を確保



(2) 総務省に届出された最繁時トラヒックは、どの期間のどの数値を用いているのか。例えば、毎日の最繁時トラヒックの年平均なのか、1年間の最繁時トラヒックなのか、御教示ください。

構成員限り

以上